

道に従って行い、理に順いて言い、公平にして私無し

副町長 就任のごあいさつ



副町長 田中茂治

令和8年8月1日付けで播磨町副町長に就任いたしました田中茂治でございます。佐伯謙作町政の2期目を支える副町長として責任の重さや役割の大きさを感じる毎日です。私自身が生まれ育った大好きな播磨町で、どのような役割を果たせるのかを考えました。その中で、私が大切にしたいのは「無私無偏」の姿勢で職務に向き合うことです。そうすることが、住民の皆さま、企業の方々、議会、行政を支える職員の笑顔に繋がるのではないかという思いを改めて感じております。

播磨町に関わる全ての方の笑顔は「まちの元気」のもとです。兵庫県で一番面積の小さな町ですが、笑顔と元気が広がる可能性は限りなく大きい町です。その実現に向けて、約30年間町職員として培ってきたバランス感覚を大切に、職務を全うしていくことが私に求められている役割だと考えております。

皆さまと「ワンチームはりま2.0」を担う一員として、魅力あるまちづくりに取り組んで行く所存ですので、どうぞよろしくをお願い申し上げます。

JICA海外協力隊としてパナマへ派遣されます

播磨南小学校教師がJICA海外協力隊としてパナマに派遣されます

小学校で算数を教えるため、西田早織さんが令和8年7月下旬から令和10年3月までの期間、パナマに派遣されます。出発に先立ち、佐伯町長を表敬訪問しました。

出発までの73日間、JICAによる語学の特別訓練を受け、スペイン語をマスターした西田さん。訓練では20〜60歳までの134人が集まり、今後はそれぞれ38か国に派遣され、30種類以上の職種に分かれて活躍されるそうです。

「語学特訓では楽しいことも苦労したこともありましたが、パナマでも、楽しむ気持ち」を大事にし、失敗を恐れず挑戦し、子どもたちの学ぶ喜びを引き出したい。また、派遣を終えた後はその経験を活かし、海外への関心や理解を広めていきたい」と、抱負を語っていました。



▲佐伯町長、西田さん、赤松教育長

町立図書館の拡大読書器が新しくなりました



拡大読書器をご寄贈いただきました
内蔵のカメラで読みたい対象を映し出し、モニターに拡大表示する「拡大読書器」を、内田晋司様（明石市在住）からご寄贈いただきました。

ご支援に感謝の意を表するため、感謝状を贈呈しました。

読みたい文字や画像が小さくて読みづらい時、スマホの画面も拡大して読むこともできます。どなたもご自由にご利用ください。

☎ 079-435-0303
☒ 地域学校教育課地域教育係



▲赤、ピンク、白のサルズベリが並んでいます

▶残暑お見舞い申し上げます。立秋が過ぎたとはいえ、それは暦の上だけのようですね。連日、気の遠くなるような熱気に包まれています。そんな炎天下でも、町道浜幹線のサルズベリが色鮮やかな花を咲かせ、まちに彩りと元気を届けてくれています。幹がなめらかでツルツルしていることから、「サルも滑って登れない」と名づけられたそうです。ほんとうにサルが登れないかどうかは別として、近くで見るとごつごつ感はなく樹皮はすべすべ。ぜひそのお肌にも注目してみてください。また、長い間、赤い花を咲かせることから「百日紅」と書きます。「まだまだ夏は終わらないよ」と頑張っているのかもしれないですね。

▶熱戦の幕を閉じたFIFAワールドカップ2026。日本代表の活躍に寝不足の方も多かったのではないのでしょうか。強豪国と渡り合い、グループステージを突破したものの、決勝トーナメントでは王国ブラジルにあと一歩及ばず、悲願は持ち越しとなりました。しかし、主力選手の負傷離脱という逆境を乗り越え最後まで果敢に挑む姿に、たくさんの感動と勇気をもらいました。「仲間を信じ、一丸となってひたむきに走り続ける」まちづくりに通じるものがありますね。次回大会に期待します！

▶8月2日、「共に生きよう ふれあいのまち」映画会を開催しました。今回は複数作品を上映する新たな試み。多くの方に足を運んでいただくために、若い世代やお子さまにも楽しんでもらえるものから往年の名作まで幅広い作品を用意しました。なかでも私が、いえ私と同年の木村拓哉さんが出演する「TOKYOタクシー」はいい映画でした。派手さはありませんでしたがじんわりと心にくるすばらしい作品で、「人生」や「出会い」について改めて考える機会となりました。

▶9月は「認知症月間」です。今年度から認知症支援の取り組みの一環として、庁舎をオレンジ色にライトアップします。江戸時代の陶芸家 酒井田柿右衛門が、夕日に映える柿の色を表現して作ったという赤絵磁器。その陶器が世界的に有名になったことから、「認知症への理解が世界中に広がってほしい」との願いを込めてこの色をシンボルカラーにしているそうです。とてもやさしい色ですね。認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるために、夜空に浮かぶオレンジ色の灯りが、認知症について知り、考え、支え合うきっかけになればうれしいです。

播磨町長 佐伯 謙作

あんぜん・あんしん
暮らしのメモ帳

9月は高齢者消費者被害防止
キャンペーン月間です

ネットの被害は若者だけではなくあります。高齢者も携帯を持ち、ネットで買い物もしている時代です。ネットリテラシー（ネット情報を正しく理解し適切に判断・活用する）を高めましょう。

ネットをめぐる消費者トラブル

1. パソコンのサポート詐欺（偽SMSより誘導されて）
2. フィッシング詐欺（偽SMSより誘導されて）
3. ネットサービスへの不正ログイン（気付かない間にパスワード漏えい）
4. 遠隔操作アプリを悪用した詐欺（勝手に消費者金融の審査を通過させることもできる）

【どうしよう】

- 偽のセキュリティ警告に表示された番号に電話をかけないでください。
- 偽のセキュリティ警告のウィルス感染はウソです。
- 記載されているURLリンクをクリックしないでください。
- 簡単に破られるパスワードは漏えいしやすいです。パスワードは「長く」「複雑」にして使いまわさないでください。
- 安易に遠隔操作アプリをインストールしないでください。
- 被害を防止するためには、消費者としてトラブルにあつたとき、またはトラブルに合わないようについのような対策をする

べきかという認識を持つことが必要です。

●おかしいと感じたり、不安に思ったら、いつでもお気軽に播磨町消費生活センターにご相談ください。

播磨町消費生活センター
電話 079-435-1999
ご相談は、お電話でご来訪どちらでも可能です。ご来訪の場合、産業環境課窓口にお声がけください。



播磨町の給食の秘密を大公開



第37回播磨町学校給食展を開催

7月17日から24日にかけて、中央公民館で学校給食展を開催しました。パネル展示では、播磨町の学校給食や各学校の食育の取り組みなどを紹介しました。最終日のイベントでは、給食調理で使用する大釜をかき混ぜる体験や豆つかみゲーム、クイズに挑戦しながら、給食について楽しく知ってもらうことができました。また、プチセミナーで腸と健康についても学んでもらうことができました。

大人気の給食試食会では、ごはん、サケの塩焼き、豚汁、こんにやくとにんじんのさんぴらを提供しました。

学校給食展を通じて「食」について学ぶ良い機会となりました。

☎ 079-435-0533
☎ 079-435-0533
☎ 079-435-0533

はりま☆キッズタウン☆ニュース

第2期子ども会議（1回目）報告

第2期子ども会議委員は、小学5年生から中学2年生の11人。町が行っている仕事やイベント、まちづくりについて考え、意見を出すことが第2期子ども会議委員の役割です。

第1回目の会議では、第2期子ども会議委員の「委嘱状」が佐伯町長から渡され、子ども会議委員を依頼されました。

第1期子ども会議委員がつくった「いきる・そだつ・まもる・こどもの権利条例」について、町長から紹介があり、「みんなが考えてくれて、とてもよいものができました。第2期子ども会議委員にも、播磨町がやっている仕事について、子どもたちの意見をたくさん出してもらえ、ることを期待します」と応援の言葉がありました。



令和8年度全国高等学校総合体育大会に出場



▲上の写真左から 小西さん・内田さん
▲下の写真 高田さん
町長から「高校生最後の夏、誰よりも心に残る思い出を作してほしい」と激励がありました

陸上で町内から3人が全国へ

8月に滋賀県で開催される令和8年度全国高等学校総合体育大会に出場することが決まった町内在住の高校生3人が、町長を表敬訪問しました。

内田琢斗さん（播磨南中学校出身 明石商業高校3年）は、棒高跳びに出場します。「全国でも表彰台を目指して頑張りたい」と抱負を述べました。

小西拓実さん（播磨中学校出身 明石北高校3年）は、110mハードルに出場します。「大会が終わったあとは受験勉強が待っている。そのために大会に全力で取り組みたい」と今の心境を語りました。

高田尚朗さん（播磨中学校出身 明石城西高校3年）は、円盤投げに出場します。「兵庫大会は雨が降っていて、苦戦を強いられただけ、結果を出せたときは嬉しかった」と予選を振り返りました。

☎ 079-435-0356
☎ 079-435-0356
☎ 079-435-0356

安心・安全なまちづくりを目指して



▲左から、
稲美町 中山 哲郎町長
すみれホール 関 晃一様
播磨町 佐伯 謙作町長

災害時における支援等で協定を締結しました

7月30日、稲美町、すみれホール様（本社所在地：加古川市）と、「災害時における支援協力に関する協定書」を締結しました。この協定は、災害発生時における遺体安置所の確保や資機材等の提供について、協力していただくことを目的としています。

本町では、これまでに4事業者と同様の協定を締結しており、このたび、すみれホール様との協定締結により、協定締結事業者は5事業者となりました。

災害が発生した際には、協定締結事業者の皆さまと連携し、迅速かつ適切な対応に努めてまいります。

☎ 079-435-2363
☎ 079-435-2363
☎ 079-435-2363

自分の自転車は自分で守る！



▲これからも、楽しみながら(T)、やりがいを感じ(Y)、お互いに、ありがとう(A)といえるような体験を目指します

防犯ボランティアアフォーラム近畿ブロックにボランティアグループTYAが出席

7月11日に神戸学院大学ポートアイランドキャンパスで令和8年度防犯ボランティアアフォーラム近畿ブロックが開催され、兵庫県代表として播磨町のボランティアグループTYAが出席しました。

ボランティアグループTYAは、小学生2人、中学生13人、高校生6人の計21人で構成する地域クラブです。ボランティア活動を始め、人権イベント、高齢者施設イベント、地域の教育力向上イベント等の企画運営など、幅広い活動を行っています。

今回は、防犯キャンペーンへの参加や、町の防犯施策の啓発イベントの企画などの活動が認められて出場することになったものです。何度も練習を重ね、「自分の自転車 自分で守る ポイントはカギ」をテーマにフォーラムの会場で見事な発表を披露しました。

☎ 079-435-0991
☎ 079-435-0991
☎ 079-435-0991